

概要

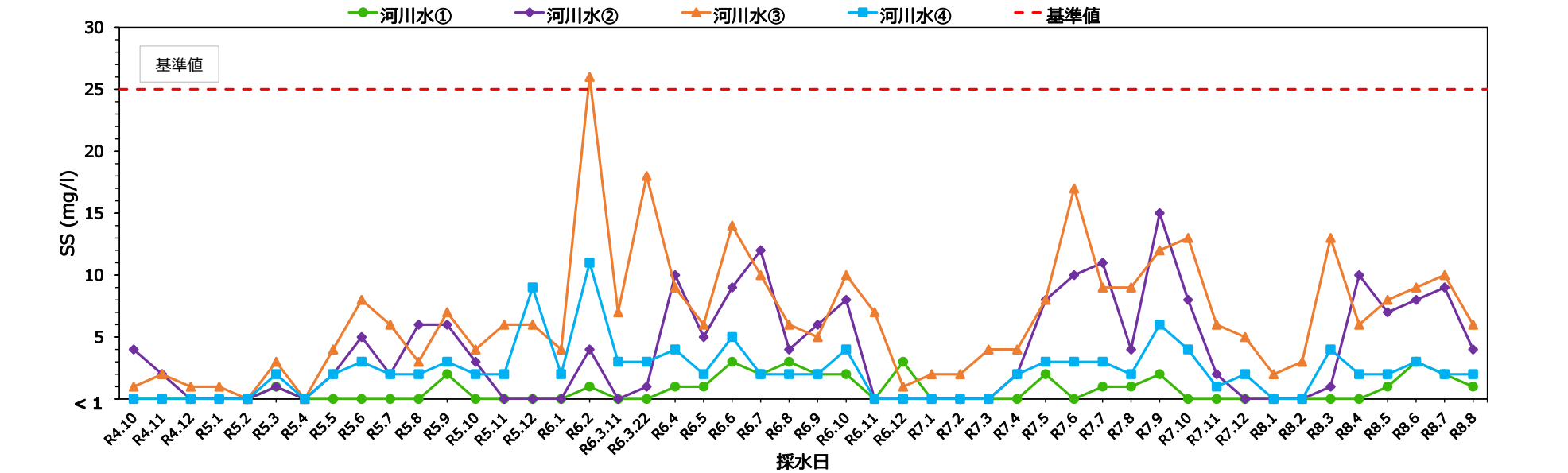
令和8年8月の測定結果については、以下のとおりです。全ての地点で基準値を下回っておりました。

表:河川水の測定結果

測定業者:(株)東洋技研

測定地点	測定項目	採水日						環境影響評価調査時 (R2.5～R3.2で4回測定)				基準値※
		R8.3.24	R8.4.22	R8.5.25	R8.6.22	R8.7.22	R8.8.25	R2.5.13	R2.8.25	R2.10.19	R3.2.12	
河川水①	浮遊物質量(mg/l)	1未満	1未満	1	3	2	1	1未満	1未満	1未満	1未満	25
	濁度(度)	0.4	0.7	1.0	1.4	0.8	0.5	0.6	0.4	0.6	0.2	-
河川水②	浮遊物質量(mg/l)	1	10	7	8	9	4	1	3	4	1未満	25
	濁度(度)	1.0	12.0	5.2	5.2	6.0	1.4	0.6	1.0	1.5	0.4	-
河川水③	浮遊物質量(mg/l)	13	6	8	9	10	6	1	4	2	1未満	25
	濁度(度)	8.5	3.8	5.7	5.6	6.8	2.0	1.1	1.0	1.1	0.7	-
河川水④	浮遊物質量(mg/l)	4	2	2	3	2	2	2	1未満	1	1未満	25
	濁度(度)	3.7	2.0	2.2	2.2	1.5	1.3	2.5	0.5	0.6	0.3	-

※ 日下川が水質汚濁に係る環境基準類型Aに指定されていることから、類型Aの浮遊物質量の環境基準値を採用。なお、濁度は環境基準値がありませんが、浮遊物質量と相関が高いことから、あわせて測定しています。

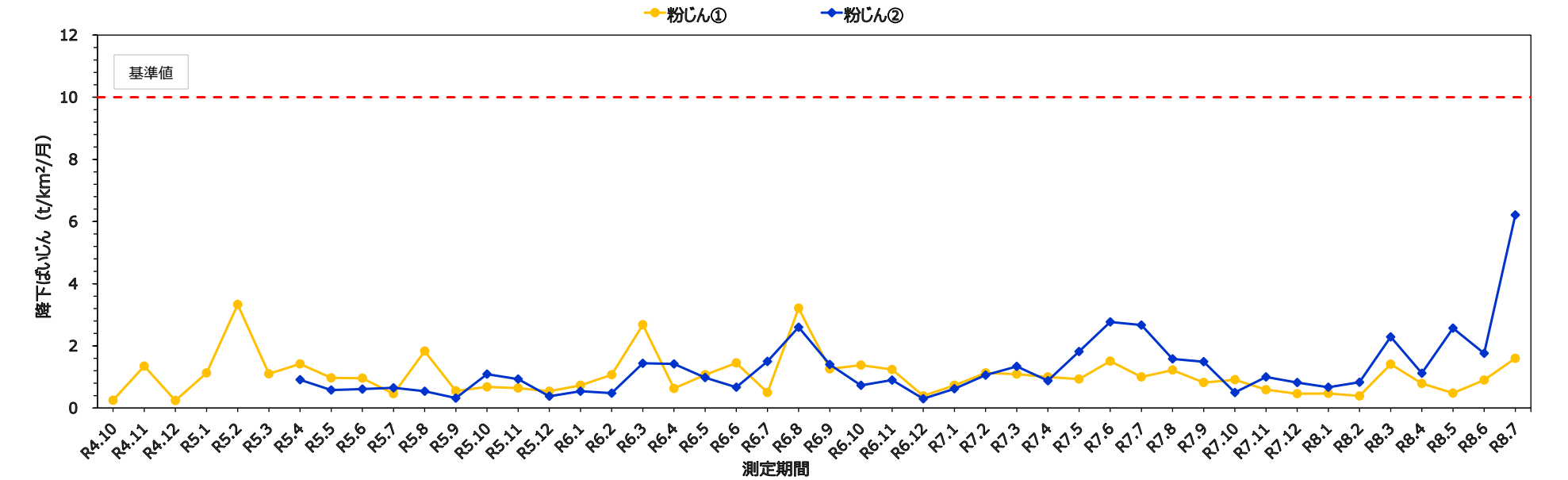


図：河川水の測定結果（SS:浮遊物質量）

概要
令和8年8月の測定結果については、以下のとおりです。全ての地点で基準値を下回っておりまして。
なお、②地点の数値上昇は、測定地付近での動物による周辺地面の掘り起こしの影響と考えられます。

表:降下ばいじんの測定結果								測定業者:(株)東洋技研				
測定地点	測定項目	測定期間（1か月毎）						環境影響評価調査時 ^{※1} (R2.2～R2.11で4回測定)				基準値 ^{※3}
		R8.2.20～ R8.3.24	R8.3.24～ R8.4.22	R8.4.22～ R8.5.25	R8.5.25～ R8.6.22	R8.6.22～ R8.7.22	R8.7.22～ R8.8.25	R2.2.25～ 3.25	R2.4.20～ 5.19	R2.9.18～ 10.19	R2.11.2～ 11.30	
粉じん①	降下ばいじん (t/km ² /月)	0.39	1.41	0.79	0.48	0.90	1.60	1.14	1.90	0.30	0.56	10
粉じん② ^{※2}	降下ばいじん (t/km ² /月)	0.83	2.29	1.12	2.57	1.76	6.21					

※1 長竹公民館付近で測定。
※2 令和5年4月から測定。
※3 環境影響評価時に定めた参考指標（工事用車両の運行に係る降下ばいじん量の参考値。出典：「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版）」（国土交通省 国土技術政策総合研究所 平成25年3月））



図：降下ばいじんの測定結果